資料 1：研究に関する情報公開文書(オプトアウト文書)

研究課題名：医学部生理学教育における理解過程と評価観点の AI 支援的構造化

2020 年度～2025 年度に生理学実習のレポートを提出された学生・卒業生の皆さまへ

1. 研究の目的

札幌医科大学医学部生理学講座では、生理学実習の教育をより良くするための研究として、過去に提出された実習レポートの記述内容を AI(人工知能)を用いて分析し、学生の皆さんがどこでつまずきやすいか(理解困難点)や、教員がどのような観点で評価しているかを明らかにする研究を行います。皆さんの成績はすでに確定しており、本研究によって成績や学生生活に影響が生じることは一切ありません。なお、本研究は過去に提出されたレポートの記述を分析するものであり、皆さんに新たな検査や負担が生じることはなく、研究に起因する健康被害が生じることも想定されないため、健康被害に対する補償はありません。

2. 利用する情報

2020 年度～2025 年度に提出された生理学実習のレポートの本文(結果・考察などの記述)、年度、実習種別、およびレポートの評点(成績)を利用します。分析の前に、氏名・学籍番号などの個人を特定できる情報はすべて取り除き、番号に置き換えます。AI による分析には個人を特定できる情報を取り除いたテキストのみを用い、入力した内容が AI の学習に利用されない契約のサービスのみを使用します。評点は、教員がどのような観点で評価しているかを分析・検証するためにのみ用います。この研究によって、確定した皆さんの成績が変わることはありません。

3. 研究期間・実施体制

本研究は、札幌医科大学の倫理審査を経て、学長の許可を受けて実施します。

研究期間：学長の承認日から 2029 年 3 月 31 日まで

研究責任者：札幌医科大学 統合 IR センター　兼　医学部生理学講座神経科学分野・講師　篠崎淳

研究資金：AI for Science 萌芽的挑戦研究創出事業(SPReAD)など

本研究について開示すべき利益相反(企業等との利害関係)はありません。

4. 結果の公表

研究の結果は、個人が特定できないように集計・加工を行ったうえで、学会や学術論文、教育改善のための資料として公表します。個人のレポート内容や成績がそのまま公開されることはありません。なお、個人ごとの分析結果を個別にお知らせすることはありません(個人を特定できる形で分析結果を保有しないためです)。

5. 情報の保管と廃棄

研究に用いた情報は、研究終了後 10 年間、大学内のアクセスが制限された環境で厳重に保管したのち、復元できない方法で廃棄します。

6. 研究への利用を望まない場合

ご自身のレポートを本研究に利用してほしくない場合は、下記の連絡先までお申し出ください。お申し出いただいた方のレポートは分析対象から除外します。拒否されたことによって、成績・学業その他に不利益が生じることは一切ありません。お申し出の期限は特に設けませんが、分析開始前(令和 8 年 12 月 31 日)までにご連絡いただけますと確実に除外できます。また、研究計画書等の閲覧をご希望の場合も、下記までご連絡ください(他の方の個人情報の保護および研究の独創性の確保に支障のない範囲で対応します)。なお、すでに解析が終了し集計・公表されたデータについては、お申し出の意向に沿うことが困難な場合があります。その場合も、以後の解析には用いません。

7. お問い合わせ連絡先

この研究に関するご質問、ご相談、利用拒否のお申し出、研究計画書等の閲覧のご希望は、下記までご連絡ください。

所属：統合 IR センター 兼 医学部生理学講座神経科学分野

氏名：篠崎淳

電話：011-611-2111(内線 26630)

受付時間：平日 9 時 00 分〜17 時 30 分（侵襲を伴わず緊急対応を要しないため平日受付のみ）

電子メール：sysns@sapmed.ac.jp